

荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

# 清水ひろし



民主ゆいの会  
国民民主党

からの手紙

第 74 号

2019 年 2 月

東尾久女子医大病院の足立区移転後、同敷地で開院する医療機関が決定しました。今後、都から災害拠点病院の指定を受けるために体制などを調べていきます。2019 年度荒川区一般会計予算案は過去最大規模となる 1022 億 9000 万円となり、当初予算として初めて 1000 億円を超えました。

今日の数字？

**235 名**

## 女子医大病院移転後の医療機関が決定

東尾久女子医大病院の足立区移転後、跡地において運営する医療事業者が社会医療法人社団 正志会（せいしかい）に決定しました。

正志会は、荒川区内では南千住にある東京リバーサイド病院を運営しています。連携大学病院は日本医大病院、病床数は 220 床を確保する予定です。

区は、女子医大病院が足立区へ移転することを受け、同敷地で運営する医療機関の公募・選定を行ってきました。女子医大病院の足立区移転（2021 年度予定）後、速やかな開設を目指しています。



正志会が運営する東京リバーサイド病院

## 過去最大規模の荒川区 2019 年度予算案 —初めて 1000 億を超える—

新年度予算案は、2～3 月に開会される予算委員会において審議されます。区民が納得・満足の実感出来る予算となっているか質疑して参ります。

\* 主要事業については裏面に掲載

### 新年度予算案概要

区分	2019 年度	今年度比増減額・率
一般予算	1023 億円	28 億円・ 2.8%
国保特会	246 億円	△12 億円・ △ 4.5%
後期高齢者医療特会	50 億円	1 億円・ 2.4%
介護保険特会	175 億円	8 億円・ 4.6%
合計	1494 億円	25 億円・ 1.7%
基金残高	267 億円	△58 億円
区債残高	198 億円	10 億円

**歳入**特別区税は今年度から 7 億円増え、初めて 170 億を超える 173 億円と見込まれています。所得環境の改善や納税義務者の増加が要因です。

**歳出**分野別では、最も多い民生費が 57.1% を占め、今年度より 4 億円増の 584 億円となっています。以下、総務費 167 億円（15.7%）、教育費 84 億円（8.2%）と続きます。

今日の数字？ **235 名**：認可保育園 4 月入園申込者のうち不承諾者数。昨年度よりは 42 名減。申込者も 1474 名と昨年度より 25 名減っている。今後、認証保育所や保育ママなどへ申し込むが、最終的に入園入所が出来ない場合は待機児童となってしまう。なお、2018 年 4 月は 80 名が待機児童となった。

## 新年度予定主要事業（一部抜粋）

### —高齢者福祉—

●高齢者の自立支援・重度化防止事業の充実：2887万円・・・福祉用具給付品にシルバーカーや手すりなどの歩行支援用具を追加。新たな通所型サービスとして昼食＋運動の短時間ミニデイサービスを開始。

### —子育て・教育—

●妊娠期からの切れ目ない支援（新規）：1857万円・・・妊娠届出の際、全ての妊婦に助産師・保健師が面接し支援プランを作成する。かかりつけ保健師が出産後も継続して相談に応じる。

●保育定員の拡大等：9億1655万円・・・保育園を2019年度4園、2020年度3園開設し、定員を400人以上拡大。入園審査にAIシステムを導入し、審査期間短縮により入園決定時期を早める。

●学校体育館の冷暖房設置：8880万円・・・今年夏までを目途に全小中学校に設置。

●子ども食堂応援フードドライブ（新規）：70万円・・・フードドライブの取組みをスーパーへ広げ、区の配送システムにより子ども食堂等へ提供する。あわせて食品ロス削減を図る。

\*フードドライブ：食べずに眠っている食品を持ち寄り、食料確保が困難な個人や団体に提供する活動。

●区立児童相談所開設準備：13億6023万円・・・2020年度開設へ、専門人材による体制構築に取り組む。

●中学1年生 夏休み補充学習（新規）：150万円・・・2019年度は2校モデル実施。民間ノウハウを活用する。

●英検受験料全額補助（新規）：371万円・・・中学3年生を対象。



### —街づくり・産業・観光・文化—

●防災街づくりのさらなる推進：1億9861万円・・・道路拡幅に係る用地取得のための各戸訪問を強化。不燃化特区以外の地域においても、耐震性の低い木造住宅除却工事の費用助成を開始。

●中小企業設備投資補助の拡充：1億2377万円・・・設備投資補助対象企業を区内継続10年以上から5年以上に拡大。先端設備導入には補助上限をアップ。

●奥の細道旅立330周年事業：2667万円・・・松尾芭蕉の「奥の細道紀行」千住旅立から330周年を記念して事業を実施し、ふるさと文化館に「奥の細道コーナー」を新設する。



●観光アプリの導入（新規）：743万円・・・スマホで多言語に対応した観光情報を入手出来るようにする。

### —区施設— \* 予算額は2019年度分

●荒川総合スポーツセンター大規模改修：24億5721万円・・・今年3月末から閉鎖し、来年4月に再開。

●新尾久図書館の整備：2億2138万円・・・宮前公園内に2020年度オープン。

●荒川遊園リニューアル：9億4220万円・・・現在閉鎖中。2021年夏リニューアルオープン。

清水啓史（43歳 昭和50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。  
平成19(2007)年 荒川区議選初出馬初当選。現在、荒川区議会議員3期目。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会、財政援助団体調査特別委員会に所属。  
区議会会派は「民主ゆいの会」、党籍は国民民主党。家族は妻と娘(小4)。



〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com